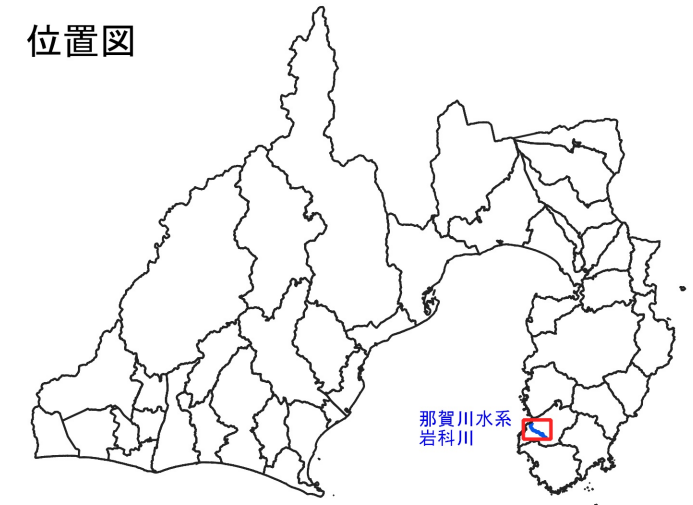


那賀川水系岩科川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

位置図



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

5.0m ~ 10.0m
3.0m ~ 5.0m
1.0m ~ 3.0m
0.5m ~ 1.0m
0.3m ~ 0.5m
0.3m 未満
市町境界
河川等範囲
浸水想定区域の対象となる河川の区間

- 1) 説明文
- この図は那賀川水系岩科川について、想定し得る最大規模の降雨により越水、溢水又は破堤した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により岩科川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2) 基本事項等
- 作成主体 静岡県
 - 対象となる河川 那賀川水系岩科川(実施区間)
左岸: 早柄川合流点から那賀川への合流点
右岸: 早柄川合流点から那賀川への合流点
 - 前提となる降雨 岩科川流域の12時間総降雨708.0mm
 - 関係市 松崎町
- 3) その他計算条件等
- この図は、岩科川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」(平成27年7月)等に基づき、越水、溢水又は破堤した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
 - この図は、岩科川の上記2)②に記載した区間において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は、対象区間をおよそ10m 間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - 5.8k より上流の河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 - 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。
 - 河川部分のメッシュ浸水深を計算しない手法であるため、河川沿いの浸水深が無着色の箇所がありますが、実際に浸水が発生した場合には、周辺メッシュと同等の浸水深になると想定されます。

